

インフルエンザワクチン説明文(皮下注射および経鼻ワクチン)

皮下注射ワクチン、経鼻噴霧型ワクチン(フルミスト)は、両者ともに今年度流行すると予想されるA型インフルエンザ2種類とB型インフルエンザ1種類の計3種類に有効な成分を含みます。インフルエンザワクチンを接種しても必ずかからないわけではありませんが、罹患率の低下や重症化の予防に役立ちます。

種類	対象・接種回数	効果発現の目安	持続期間の目安
皮下注射	13歳未満は2回接種(2～4週間隔) 13歳以上は1回接種	接種後約2週間から	3～5か月
フルミスト (経鼻噴霧)	2歳以上18歳以下／1シーズン1回 左右の鼻に0.1mLずつ噴霧、痛みなし	接種後約2週間から	1シーズン(6～12か月)

【接種を受けることが出来ない方(禁忌)】

- ・体温が37.5℃以上の方。
- ・重篤な急性疾患にかかっている方。
- ・以前にワクチン接種で急性の全身アレルギー反応(アナフィラキシー等)をおこした方。
- ・〈フルミストのみ〉妊娠している方。2カ月以内に妊娠を希望される方。
- ・〈フルミストのみ〉免疫機能の異常がある方、免疫を抑える治療(ステロイド全身投与・免疫抑制剤等)を受けている方。
- ・上記のほか、予防接種を受けることが不相当と医師が判断した方。

【接種の判断に注意を要する方】

次のいずれかに該当する場合は、問診表に記入し医師にご相談ください。

- ・心臓血管系疾患・腎臓疾患・肝臓疾患・血液疾患等の基礎疾患を有する方。
- ・過去の予防接種で2日以内に発熱や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状をおこした方。
- ・過去にけいれんを起こしたことのある方。
- ・過去に免疫不全と診断された方、または、近親者に先天性免疫不全症の方がいるひと。
- ・本剤の成分又は鶏卵、鶏肉、ゼラチンにアレルギーを起こす恐れのある方。
- ・〈フルミストのみ〉重度の喘息・喘鳴の症状がある方、既往のある方。
- ・〈フルミストのみ〉授乳中の方／妊娠の可能性のある方(接種前約1か月・接種後約2か月は避妊が必要)。
- ・〈フルミストのみ〉アスピリン等サリチル酸系薬剤、ジクロフェナクナトリウム、メフェナム酸を服用中の方。
- ・接種当日の体温が通常より高い場合や体調が普段と違う方は、医師にご相談ください。

【ワクチン副反応と接種後の注意事項】

- ・ショック・アナフィラキシーは接種後30分以内に多くみられます。接種後30分は直ぐに医師に相談・受診できるように行動してください。冷や汗、めまい、顔面蒼白、呼吸困難、じんま疹、嘔吐・腹痛等の症状があれば直ちにご相談ください。
- ・接種部位が赤くなる・腫れる・痛む、軽い発熱等がおきることがあります。体調の変化、高熱・けいれん等の症状があらわれた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ・接種後は入浴して差し支えありませんが、皮下注射を受けた方は、接種部位を強くこすらず清潔に保ってください。当日はいつもどおりの生活を心がけ、激しい運動や飲酒は避けてください。
- ・〈フルミストのみ〉接種後4週間はインフルエンザ検査で陽性になることがあります。
- ・〈フルミストのみ〉接種後1～2週間は乳児・重度の免疫不全者との密接な接触は控えてください。
- ・〈フルミストのみ〉接種後2か月間は妊娠できません。

【予防接種健康被害救済制度】

万が一、今回の予防接種で重篤な副反応が発生し、後遺症が残ったり死亡した場合には、公的制度により一定の補償がおこなわれます。

お問い合わせ 長岡市福祉保健部健康課 電話 0258-39-7508 / 新保内科医院 電話 0258-25-8282

本紙は厚生労働省・PMDA公表の添付文書等をもとに作成した説明用資料です。